

# 「やっぱり仕事は辛抱です」

「現代の名工」に選ばれた  
神戸洋服の仕立師  
稲澤 治徳さん(68)  
—明石市



ばかりで、100万円以上する生地ハサミを入れるのもしばしば。日々が緊張の連続だったという。

「天職」と思えるようになったのは、4歳を過ぎたころ。「君はええ仕事しとるな」と常連客の実業家にかげられた言葉が心に響いた。今では「ぜひとも稲澤さん」と指名がある。

「若い人には、いい洋服に興味を持ってほしい。次代に技術を継承していきたい」。名工は力を込める。

【竹内良和】

# 「小津監督は宝塚歌劇のファンだった」

母の「手に職を付ける」の言葉で地元の洋服店に入った。洋服学校や神戸の老舗などで腕を磨き、名企業の社長など名士

田音吉洋服店へ。

同店の背広は安くても1着25万円。顧客は有名

小林一三のおいで  
元宝塚映画製作所長  
田辺 節郎さん(92)  
—芦屋市



が決まっていたのが、三氏の勧めで阪急電鉄に入社した。「よく宿題を出されました。ある時、西宮球場でプロ野球を見て帰りが遅くなった時、『プロ野球経営論をまとめろ』と指示されたことがあります。機会を伺っては、私に勉強させようと考えておられたのです」

宝塚映画時代の思い出は「(グループ会社の)東宝だけでは上映本数が足りないで、宝塚でも映画を撮り出した。B級作品が多かったが、小津安二郎監督や成瀬巳喜男監督の(宝塚で撮った)作品は良かったですよ」。

小津監督は「宝塚歌劇がお好きで、ひまがあれば宝塚大劇場に見に行っていましたね」と秘話を話した。

【田畑知之】

# 毎日育英会 奨学生説明会

毎日育英会は、高校を卒業し大学、専門学校、予備校などへ独力で進学を目指す若者のために奨学生制度を設けています。入会して新聞配達に従事することにより、奨学金の支給、学費の無利子貸し付け、住居の無料提供、食事の世話などを受けられます。

制度の説明会を次の通り開きます。今回は関

関東進学予定者対象 大阪で24日

東地方の学校へ進学予定の受験生、保護者、高校の先生のご来場をお待ちしています。

▽日時 24日(土) 14時開会▽場所 大阪市北區梅田3、毎日インテシオ4階B会議室▽参加費無料、交通費支給

問い合わせは毎日育英会東京事務局(フリーダイヤル0120・098・098)。

# 講演会

甲南女子大学日本語日本文学科講演会 20日(火) 10時40分〜12時10分、神戸市東灘区森北町6の同大学9号館1階。学科(078・413・3080)。

「詩はどうして生まれたのかー砂の旅ー日本語の旅」をテーマに、言葉の世界の魅力について語る。入場無料、事前申し込み不要。問い合わせは同大学日本語日本文学科(078・413・3080)。

# 名士寄贈書画工芸作品入札・即売会

毎日新聞大阪社会事業団はチャリティ「名士寄贈書画工芸作品入札・即売会」を12月2日(日)、3日(月)、4日(火)に大阪市北區梅田3、毎日新聞ビル地下1階・オーバルホールで開催します。もちや障害者、難病患者の支援

来月2〜4日 大阪・オーバルホール

の2方式で販売します。時間は2、3日が午前11時〜午後8時、4日が午前11時〜午後4時。入場は無料です。

収益は、親と離れて暮らす子どもたちや障害者、難病患者の支援

をまじめとする福八福止事業

「小林一三没後50周年」をテーマに行われた第8戦後間もなく、大阪・池田の二三氏の私邸で新婚

「起きたか」と声をかけられ、布団の中から「起き